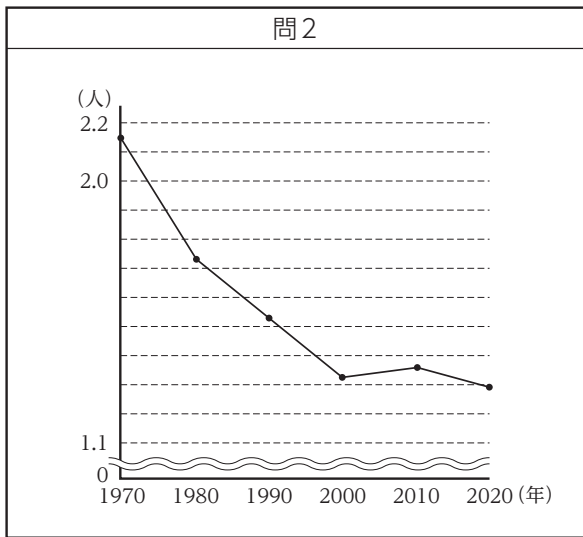


小学5年 思考力テスト — 解答と解説

1

問1							
ア	○	イ	○	ウ	○	エ	×
	21		22		23		24



問3			
a	11.9	b	3915
	26		27

【例】 問4	
働き手	
	28

【例】 問5																			
税	し	ゆ	う	入	が	減	っ	て	、	社	会	保	し	よ	う	費	が	不	足
す	る	と	い	う	問	題	が	起	き	と	考	え	ら	れ	る	。	こ	れ	
を	解	消	す	る	た	め	に	、	外	国	人	が	日	本	国	せ	き	を	取
り	や	す	く	す	る	よ	う	に	し	て	、	日	本	の	人	口	を	ふ	や
し	、	税	し	ゆ	う	入	が	増	え	る	よ	う	に	す	る	。			

2

問1			
(1)	38、21、16、14、13、11、10		
30(完答)			
(2)	【例】 13になる組み合わせが2つある		
(3)	イ	(4)	オ
32		33	
31			

問2			
(1)	0.27	(2)	ウ
34 35			
(3)	【例】 頭をぶつけてしまわないように、ホテルの部屋の天井が高くなっている		
36			

(配点)

- ① 問1 4点×4 問2 7点 問3 5点×2
- 問4 7点 問5 10点
- ② 問1(1)(2) 8点×2 問1(3)(4)、問2(1)(2) 6点×4 問2(3) 10点
- 計100点

【解説】

①

問1 B1 情報を獲得する 特徴的な部分に注目する 比較

- ア：人口密度が100人／km²以下の都道府県は、北海道、岩手県、秋田県、島根県、高知県の5道県です。少ない順に北海道、岩手県、秋田県、高知県、島根県の順になります。
- イ：人口密度が1000人／km²を超す都道府県は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、福岡県ですので、地方でいうと関東地方、中部地方、近畿地方、九州地方になります。
- ウ：日本海に面している都道府県のうち、人口密度が101～200人／km²の都道府県は青森県、山形県、新潟県、福井県、鳥取県の5県です。
- エ：最も人口密度が高い都道府県は東京都の約6398人／km²で、大阪府は第2位の約4609人／km²となっています。図1からはこのことを読み取ることはできません。

問2 B1 情報を獲得する 置き換え

たて軸が%、横軸が年を表していることを確認してグラフをていねいに書きましょう。解答参照。

問3 B1 特徴的な部分に注目する 具体・抽象 置き換え

- a：2020年の15～64歳の人口割合が59.5%、65歳以上の人口の割合が28.6%ですので、全体の100%から $59.5+28.6=88.1$ を引くと11.9%となります。
- b：日本の人口は1億2615万人から8700万人に減少しますので、減少数は1億2615万人－8700万人＝3915万人となります。

問4 B1 情報を獲得する 比較 具体・抽象

【資料2】からわかるように、働き手である15～64歳の割合が減少することが予測されています。また、総人口そのものが減少することで、物を買う人が減少することも予想されます。これらにより、日本の経済規模が減少することにつながります。

問5 C1 特徴的な部分に注目する 情報を獲得する 具体・抽象

問4以外には、国の財政の基盤となる税収が減少することで、社会保障費の財源が不足することなどの問題が発生することが予想されます。これを解消するため、たとえば外国人が日本国籍を取りやすくなるようにして、日本の人口を増やして税収が増えるようにするという方法が考えられます。起こりうる問題とその解決策について、自由に考えて書いてみましょう。この問題では、①他にどのような問題が起きると考えられるか、②①の問題を解消するための方法が説明されているかどうか、③①②に過不足がなく、文章の整合性に誤りがないかどうか、④ます目の使い方が正しいかどうか、⑤表現や表記に誤りがないかどうか、⑥字数制限を満たしているかどうかを中心に見ています。(ただし、50字以上80字未満の解答については①～③のみ採点対象とし、④～⑥は採点対象としません。また、50字に満たない解答は①～⑥すべて採点対象としません。)

②

問1 (1) A2 情報を獲得する 再現する

表1から年れいの合計を求めると、アは38、イは21、ウは16、エは14、オとカは13、キは11、クは10となります。

(2) B1 順序立てて筋道をとらえる 特徴的な部分に注目する 理由

(1)で考えたように、年れいの合計のうち13がオとカの2通りあります。13以外はそれぞれ1通りしかないので、もし年れいの合計が13でないなら、けいたさんは自分の着ている服の数字から、ひろみさんの3人の子どもの年れいがどの組み合わせかわかるはずですが、【算数パズル】にはけいたさんの服の数字がいくつなのかは書かれていませんが、服の数字が13で、13が2通りあるためにひろみさんの子どもの年れいがわからなかったのです。よって、空らんAに入るのは「13になる組み合わせが2つある」などとなります。この問題では、①正しい内容が書かれているかどうか、②①に過不足がなく、表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。

(3)(4) B1 順序だてて筋道をとらえる 推論

ひろみさんの「年れいが一番上の子ども」という言い方から、年れいが一番上の子どもが1人しかいないことがわかります。オとカのうち、カの「6才、6才、1才」では年れいが一番上の子どもが2人いることとなりますから、ひろみさんの子どもはオの「9才、2才、2才」であることがわかります。

問2 (1) A2 情報を獲得する 再現する

$3475 \div 12756 = 0.272\cdots$ より、小数第3位で四捨五入して0.27となります。

(2) B1 情報を獲得する 比較

土星は地球の95倍もの重さがあるのに、重力は地球の17倍重い海王星よりやや小さくなっています。ちなみに、重力の大きさは星が重いほど大きくなりますが、星の直径が大きいほど小さくなります。

(3) C1 理由 推論 具体・抽象

月の重力は小さく、体がフワフワういてしまいます。これによる不便を解消するための工夫を、自由に考えて書いてみましょう。たとえば、頭をぶつけてしまわないよう月のホテルの部屋は天井が高くなっているかもしれません。他にも、体がういてしまわないように、ベッドやトイレにはとめ具がついていることでしょうか。この問題では、①重力が小さいことによる不便を解消する工夫について書かれているかどうか、②①に過不足がないかどうか、③表現や表記に誤りがないかどうかを中心に見ています。